

平成27年3月期 決算説明会

業績レビューと今後の重点施策

that's
GOOD
science!

タカラバイオ株式会社

平成27年5月13日

連結業績

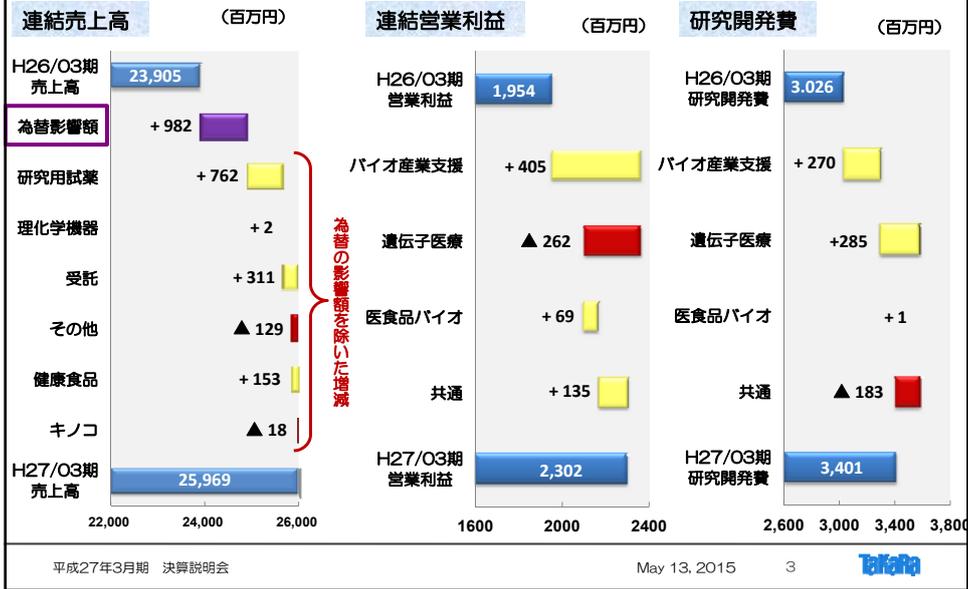
H27/03

(百万円)

	H27/03	1/30見込比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
売上高	25,969	+69	+0.3%	+2,064	+8.6%
売上原価	12,142	+81	+0.7%	+810	+7.2%
売上総利益	13,827	▲11	▲0.1%	+1,253	+10.0%
販売費及び一般管理費	11,524	▲113	▲1.0%	+905	+8.5%
営業利益	2,302	+102	+4.6%	+348	+17.8%
経常利益	2,772	+111	+4.2%	+532	+23.8%
当期純利益	963	▲36	▲3.6%	▲506	▲34.4%

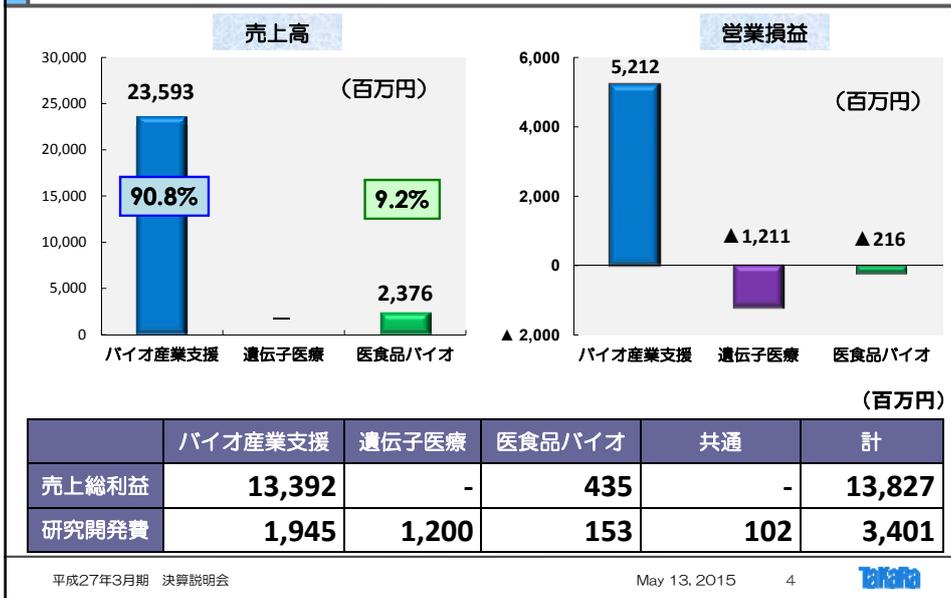
売上高・営業利益・研究開発費（連結） ＜前期比増減＞

H27/03



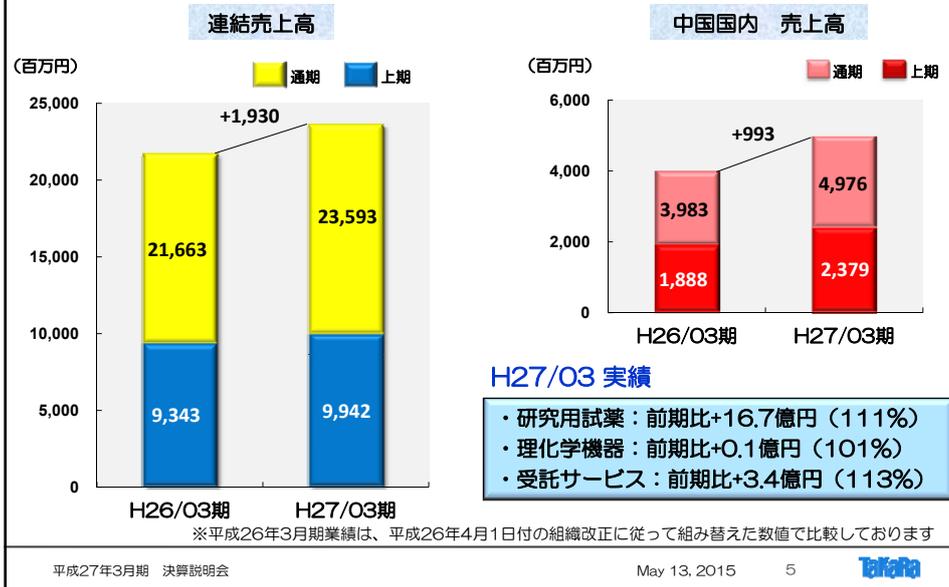
セグメント情報（連結）

H27/03



セグメント別売上高（連結） バイオ産業支援事業（1）

H27/03



セグメント別売上高（連結） バイオ産業支援事業（2）

H27/03

研究用試薬類の外部売上高

(百万円)

	H26/03 実績	H27/03 実績	前期比	為替の影響 (前期比)	前期比（為替 の影響除く）
日本	5,860	5,435	▲ 425	-	▲ 425
米国	3,865	4,570	+ 704	+ 348	+ 356
欧州	1,599	1,960	+ 361	+ 146	+ 215
中国	3,596	4,532	+ 936	+332	+ 604
韓国	613	707	+ 93	+ 78	+ 14
インド	225	230	+ 4	+7	▲ 2

平成27年3月期 決算説明会

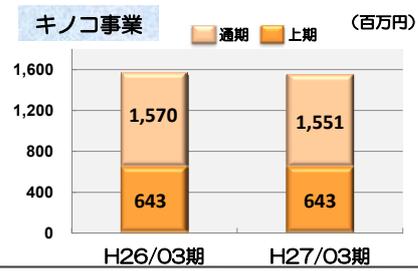
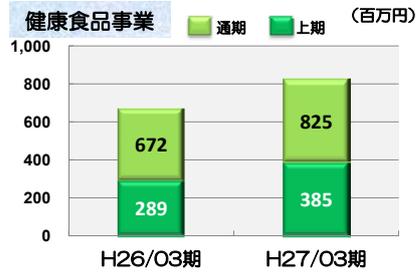
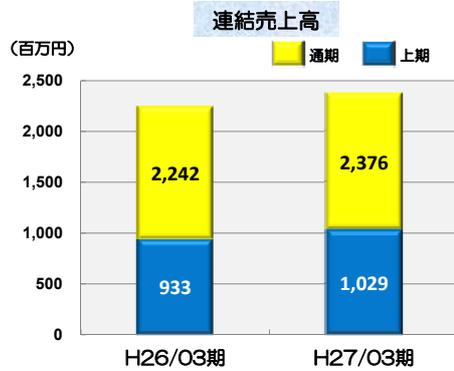
May 13, 2015

6



セグメント別売上高（連結） 医食品バイオ事業

H27/03



H27/03 期実績

- ・健康食品事業 +153百万円
- ・キノコ事業 ▲18百万円
- 内訳：ホンシメジ +61百万円
- ハタケシメジ ▲15百万円

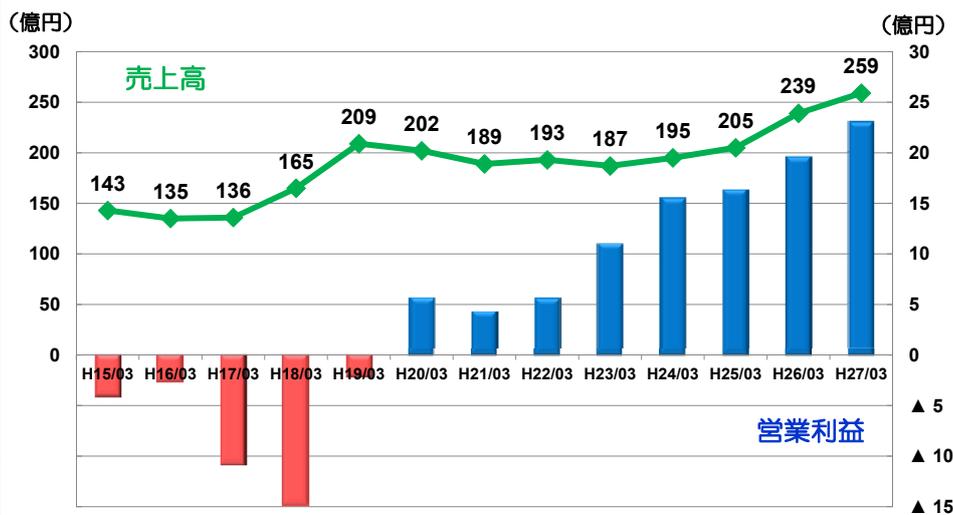
平成27年3月期 決算説明会

May 13, 2015

7



売上高・営業利益（連結）の推移



平成27年3月期 決算説明会

May 13, 2015

8



中期経営計画

- ・ 平成30年3月期までの業績目標
- ・ 各事業における施策

タカラバイオ事業領域



タカラバイオグループ連結業績目標

(百万円)

	H28/03予算	H29/03計画	H30/03計画
売上高	28,300	29,800	31,300
営業利益	2,350	2,450	2,550
経常利益	2,800	2,870	2,970
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,500	1,700	1,800
研究開発費	4,013	4,514	5,015

セグメント別営業利益

	H28/03予算	H29/03計画	H30/03計画
バイオ産業支援	5,713	6,119	6,451
遺伝子医療	▲1,579	▲1,830	▲2,080
医食品バイオ	61	92	130
共通	▲1,845	▲1,931	▲1,951

平成27年3月期 決算説明会

May 13, 2015

11



セグメント別 売上目標

(百万円)

	H28/03予算	H29/03計画	H30/03計画
研究用試薬	19,519	20,532	21,489
理化学機器	2,405	2,405	2,405
受託	3,654	4,043	4,486
その他	398	398	398
バイオ産業支援	25,978	27,380	28,780
遺伝子医療	-	-	-
健康食品	841	920	1,000
キノコ	1,480	1,500	1,520
医食品バイオ	2,321	2,420	2,520
売上高 合計	28,300	29,800	31,300

平成27年3月期 決算説明会

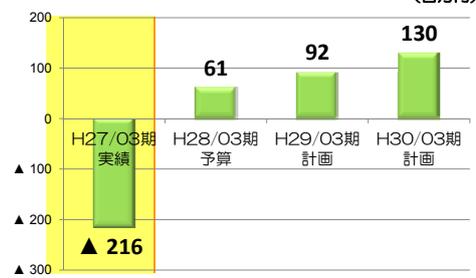
May 13, 2015

12



医食品バイオ事業の施策（１）：健康食品事業

医食品バイオ事業の営業利益



① 平成28年3月期、営業黒字化

② 機能性食品素材のエビデンス強化
(アグロ・メディカル的アプローチ)

③ エビデンスデータのWeb公開や
情報冊子配布による啓発活動の
強化

機能性食品素材のエビデンス

- ・ガゴメ昆布「フコイダン」：免疫活性化作用、インフルエンザ予防作用・育毛作用など
- ・ボタンボウフウ「イソサミジン」：血流改善作用、排尿改善作用
- ・明日葉「カルコン」：メタボリックシンドローム改善作用
- ・寒天「アガフィトース™」：関節炎予防作用、美容作用（シワ予防など）
- ・クーガイモ「ヤムスゲニン。」：脂肪燃焼作用や運動能力の向上作用
- ・きのこ「テルペン」：抗腫瘍作用

平成27年3月期 決算説明会

May 13, 2015

13



医食品バイオ事業の施策（２）：キノコ事業

④ キノコ生産の効率化と収益性の高い販路開拓による販売拡大

- ・瑞穂農林株式会社に生産を集約し、生産の効率化
- ・高付加価値なホンシメジの販売に注力
- ・収益性の高い販路の開拓などによる収益の改善



		H27/O3 実績	H28/O3 予算
ホンシメジ (瑞穂農林株式会社)	売上高	579百万円※	585百万円
	販売量	約352トン※	約278トン
ハタケシメジ (瑞穂農林株式会社)	売上高	413百万円	346百万円
	販売量	約674トン	約487トン
フナシメジ (株式会社 きのこセンター金武)	売上高	122百万円	150百万円
	販売量	約238トン	約275トン
キノコ合計	売上高	1,115百万円	1,083百万円

※ホンシメジのH27/O3実績には、タカラバイオ株式会社楠工場での生産分が含まれています。

平成27年3月期 決算説明会

May 13, 2015

14



バイオ産業支援事業の施策（１）：事業拡大の方向性

1 遺伝子工学から細胞工学へ

- 細胞加工受託サービスなど、CDMO事業の拡大
- 幹細胞研究、再生医療・細胞医療支援分野の新製品・サービスの開発

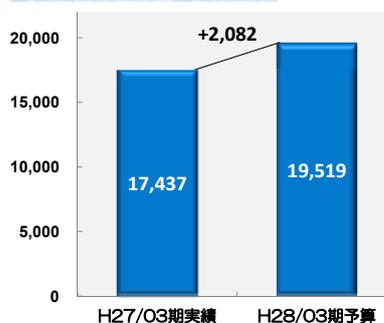
2 基礎研究支援から先端研究支援へ

- 次世代シーケンス関連試薬の開発強化
- 遺伝子検査などの受託サービスの拡大

3 研究支援分野から産業支援分野へ

- 診断薬会社向けなどのカスタム製品・酵素バルク製品の開発・強化
- OGCTP/GMP準拠製品の開発

研究用試薬の連結売上高 (百万円)



H27/O3期 研究用試薬の連結売上高

前期比+20.8億円の内訳

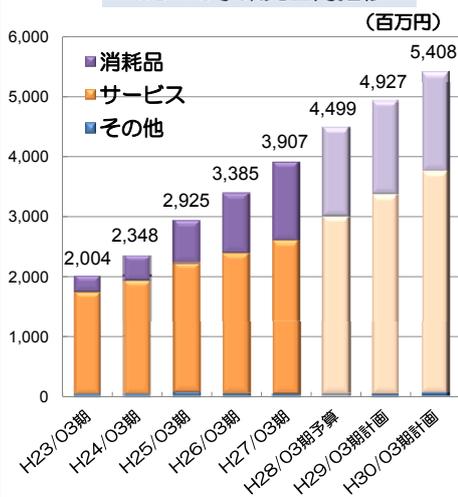
為替の影響：+6.3億円

日本：+2.1億円、中国：+4.2億円

欧州：+2.7億円、米国：+3.7億円

バイオ産業支援事業の施策（２）：CDMO事業の拡大

CDMO事業売上高推移



H28/O3期 通期売上予算

再生医療等製品関連受託：前期比+360百万円

遺伝子検査受託：前期比+323百万円

細胞培養用培地・バッグ：前期比+113百万円



再生医療等製品開発をワンストップサービスで支援 iPS細胞由来細胞医薬も遺伝子導入細胞

遺伝子・細胞プロセッシングセンター

再生医療等支援サービス

iPS細胞や各種幹細胞等の製造、品質試験
セルバンクの作製、保管
ウイルスやプラスミドベクター製造

バイオメディカルセンター

遺伝子検査支援サービス

次世代シーケンサーによる遺伝子解析
SNPタイピング

先端的研究支援サービス

次世代シーケンサーや各種アレイ解析システムを用いた解析
シングルセルやゲノム編集などの先端技術

遺伝子工学/細胞工学 基礎研究支援サービス

遺伝子、抗体、タンパク質などの作製、解析

バイオ産業支援事業の施策（3）： 品質向上の取組み・産業支援分野への拡大

タカラバイオ(株)草津事業所 衛生検査所の登録

血液学的検査・病理学的検査の実施

宝生物工程（大連）有限公司 ISO9001の認証を取得

分子生物学及び細胞生物学分野に
おける研究用試薬の製造及び研究
受託サービスの提供

GMPグレード試薬類の開発・製造

衛生検査所登録証明書

臨床検査技師等に相当する医師(昭和33年法律第76号)第20条
の3第1項の規定に基づき、衛生検査所として下記のとおり登録し
たので、この証を交付する。

平成26年10月29日

登録機関名 三日月 大塚



バイオ産業支援事業の施策（4）： 再生・細胞医療研究支援製品の拡大



Enhanced hiPS - HEP/CM

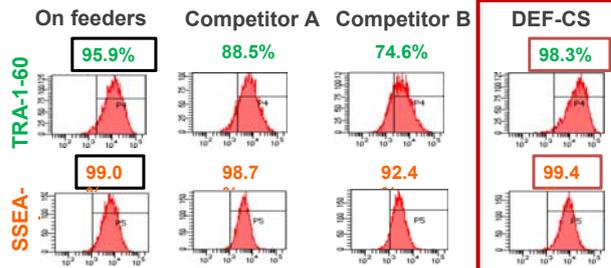
ヒトiPS細胞由来肝臓細胞/心筋細胞培養キット

DEF-CSTTM 500

Feeder-freeでのヒトiPS細胞培養用培地キット



ヒトiPS細胞での性能評価



iSTEMTM

Feeder-free・無血清・サイトカイン無添加でのマウスES細胞培養用培地

平成27年3月期 決算説明会

May 13, 2015

19



バイオ産業支援事業の施策（5）： 先端研究支援分野の拡大

SMART-SeqTM v4 Ultra Low Input
RNA kit for Sequencing

超微量RNAサンプルからの高効率cDNA調製キット

- 超微量サンプルからの次世代シーケンサーによる遺伝子発現解析用キット、シングルセル解析が可能



AAVpro[®]シリーズ

アデノ随伴ウイルス（AAV）ベクター作製・精製キット

- AAVは、安全性が高く、高効率な遺伝子導入が可能で、組織指向性があるため、基礎研究から臨床研究に使用
- 遺伝子・細胞プロセッシングセンターにおける受託サービスにも活用



平成27年3月期 決算説明会

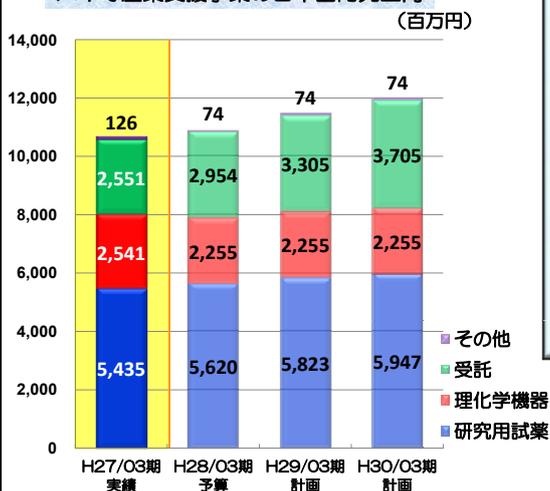
May 13, 2015

20



バイオ産業支援事業の施策（6）：日本での展開

バイオ産業支援事業の日本国内売上高



【組織変更】
「受託開発部」
「カスタマーリレーションセンター」
「海外営業部」
の新設

【注力製品・分野】
・リアルタイムPCR関連製品
・次世代シーケンス関連製品
・再生・細胞医療研究支援製品
・受託サービス（GCTP、遺伝子検査）
・カスタム製品・酵素バルク製品

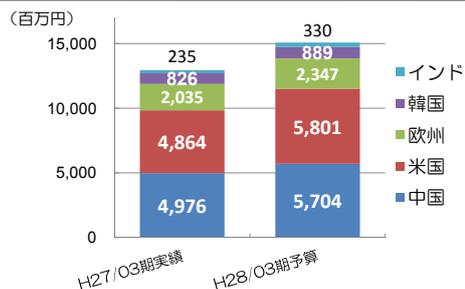
平成27年3月期 決算説明会

May 13, 2015

21



バイオ産業支援事業の施策（7）：海外での展開



中国：細胞培養用培地・バッグ、
診断薬会社や検査会社への酵素拡販
米国：次世代シーケンス関連製品などの
開発強化・拡販
欧州：直販強化による拡販、
幹細胞関連製品の開発

海外売上高（現地通貨ベース）

	H27/O3実績	H28/O3予算	
中国 (百万円)	289	316	
米国 (千ドル)	45,982	49,585	
欧州	効力バ イコ-ロバ SAS (千1-0)	13,853	15,225
	効力バ イコ-ロバ AB (千加-ナ)	5,883	22,480
韓国 (百万円)	8,220	8,890	
インド (百万ルピー)	135	183	

遺伝子医療事業：臨床開発プロジェクトの推進

- Oncolytic Virus（腫瘍溶解性ウイルス）
 - ・HF10 プロジェクト
- Engineered T cell Therapy（分子標的T細胞療法）
 - ・ siTCR遺伝子治療プロジェクト
 - ・ CAR遺伝子治療プロジェクト
 - ・ MazF遺伝子治療プロジェクト

Oncolytic Virus：HF10プロジェクトの進捗状況

HF10（日本）

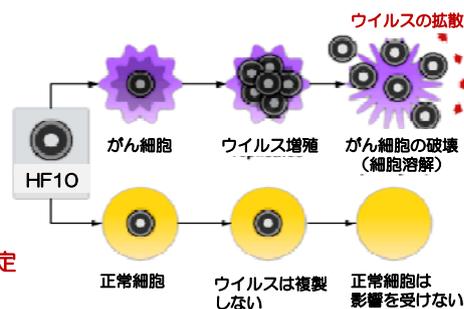
○治験（固形がん）

- ・再生医療等製品としての治験
- ・国立がん研究センター中央病院で、第Ⅰ相臨床試験を実施中
- ・目標症例数：6名
- ・平成27年度に第Ⅰ相臨床試験を終了予定

HF10（米国）

○治験（メラノーマ）

- ・悪性黒色腫を対象にハンツマン癌研究所など8施設で、第Ⅱ相臨床試験を実施中
- ・既存抗がん剤pilimumabとの併用療法
- ・目標症例数：43例（16例に投与）
- ・平成28年度に第Ⅱ相臨床試験を終了予定



HF10 プロジェクト：米国第 I 相臨床試験における症例 遅発性の腫瘍縮小効果を確認

82歳男性、メラノーマ



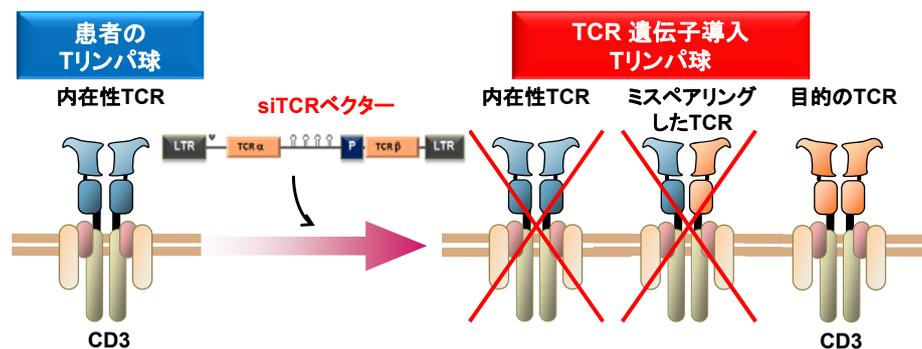
平成27年3月期 決算説明会

May 13, 2015

25



Engineered T cell Therapy : 当社独自技術である siTCRベクター技術



内在性TCRの関与を抑え、副作用のリスクの低減、有効性の向上につながる

※TCR：T cell receptorの略で、T細胞受容体のこと。
リンパ球に発現する糖タンパク質で、リンパ球が抗原を認識する際に作用する。
がん抗原などの抗原をTCRが認識することで、リンパ球が活性化される。

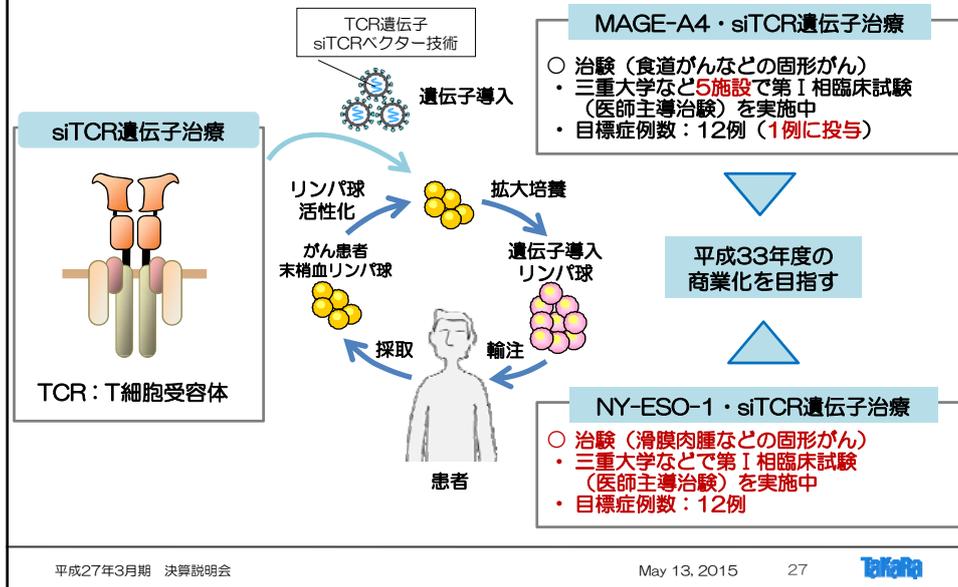
平成27年3月期 決算説明会

May 13, 2015

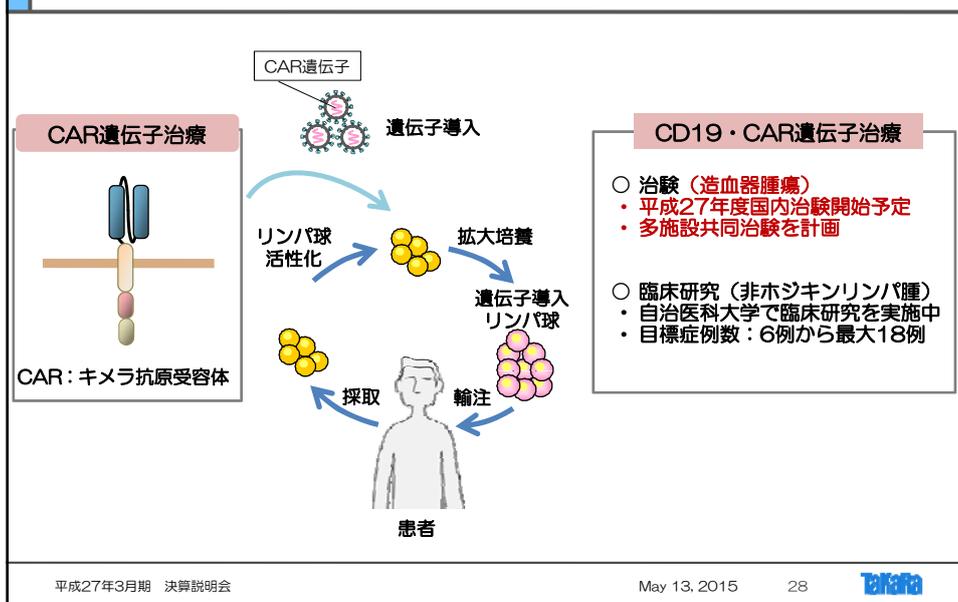
26



Engineered T cell Therapy : siTCR遺伝子治療プロジェクト



Engineered T cell Therapy : CAR遺伝子治療プロジェクト



Engineered T cell Therapyは世界中で臨床開発が進められている

Company	Technology/cell type	Indication
Takara Bio (Japan)	CAR (autologous) targeting CD19, TCR, MAG-E-A4	NHL, esophageal cancer
Takara Bio (Japan)	mRNA interferase MazF (autologous) endoribonuclease-modified CD4 ⁺ T cells	HIV

特にCAR遺伝子治療は多数のビッグファーマ創薬ベンチャーが臨床開発を実施

- Novartis
- Cellceptis / Pfizer
- Juno Therapeutics
- Kite Pharma / Amgen
- Celgene / Bluebird Bio

June CH, et al. Sci Transl Med. 2015 Vol7 280:280ps7

平成27年3月期 決算説明会 May 13, 2015 29

Engineered T cell Therapy : MazF遺伝子治療プロジェクト

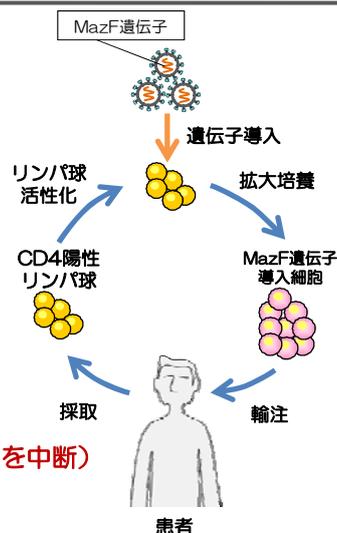
MazF遺伝子治療 (米国)

○治験 (HIV感染症)

- 米国で第 I 相臨床試験を実施中
- 平成27年度に第 I 相臨床試験を終了予定

【治験概要】

- 第1コホート (目標症例数: 6例) **投与完了**
抗HIV薬治療を受けているHIV感染患者
- 第2コホート (目標症例数: 6例)
抗HIV治療を受けているHIV感染患者
(細胞投与2週間後から16週間にわたり抗HIV治療を中断)



遺伝子治療プロジェクトの臨床開発スケジュール

		対象疾患	Phase	日本における 検討適用制度	商業化	
Oncolytic Virus	HF10	メラノーマ など	Phase I (国内) ※ 平成27年度終了予定	・オーファンドラッグ制度 ・先駆け審査指定制度 ・条件及び期限付承認制度	平成 30年度	
		メラノーマ	Phase II (米国) 平成28年度終了予定	—		
Engineered T cell Therapy	siTCR	MAGE-A4・ siTCR遺伝子治療	Phase I (国内) ※ (医師主導治験) 平成27年度終了予定	・条件及び期限付承認制度	平成 33年度	
		NY-ESO-1・ siTCR遺伝子治療	Phase I (国内) ※ (医師主導治験) 平成28年度終了予定	・オーファンドラッグ制度 ・条件及び期限付承認制度		
	CAR	CD19・ CAR遺伝子治療	造血器腫瘍	治験開始準備中 平成27年度開始予定 (国内)	・オーファンドラッグ制度 ・条件及び期限付承認制度	
		MazF遺伝子治療	HIV感染症	Phase I (米国) 平成27年度終了予定	—	平成 34年度
※:再生医療等製品としての治験						
平成27年3月期 決算説明会		May 13, 2015		31		

将来の見通しに関する注意事項

資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

お問い合わせ先：事業開発部
E-mail: bio-ir@takara-bio.co.jp

参考資料

- ・ H27/03 セグメント別売上高（連結）
- ・ 会社別業績（H26/03～H28/03）
- ・ セグメント別業績（H27/03～H30/03）
- ・ バイオ産業支援事業外部売上高（H28/03）
- ・ H28/03予算 セグメント情報（連結）
- ・ 遺伝子治療・細胞医療の臨床開発

H27/03 セグメント別売上高（連結）

【参考資料】

（単位：百万円）

	H27/03	1/30見込比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
研究用試薬	17,437	▲97	▲0.6%	+1,676	+10.6%
理化学機器	2,705	+255	+10.4%	+18	+0.7%
受託	3,031	▲37	▲1.2%	+341	+12.7%
その他	418	+1	+0.4%	▲106	▲20.3%
バイオ産業支援	23,593	+122	+0.5%	+1,930	+8.9%
遺伝子医療	—	—	—	—	—
健康食品その他	825	+13	+1.6%	+153	+22.8%
キノコ	1,551	▲66	▲4.1%	▲18	▲1.2%
医食品バイオ	2,376	▲52	▲2.2%	134	+6.0%
売上高合計	25,969	+69	+0.3%	+2,064	+8.6%

【参考資料】

会社別業績

(単位：百万円)

	従業員数	H26/03 実績		H27/03 実績		H28/03 予算	
		売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
タカラバイオ (単体)	384	15,611	1,592	16,138	1,223	16,838	1,732
瑞穂農林	26	665	▲135	754	▲16	721	▲27
タカラ イノベーションセンター	0	17	8	16	5	16	5
きのこセンター金武	8	118	▲17	134	▲14	174	11
Takara Bio Europe SAS*	34	1,601	144	1,944	200	2,044	145
Takara Bio Europe AB*	38	—	—	101	▲25	617	1
宝生物工(大連) *	514	4,018	1,503	4,676	1,882	5,198	1,946
宝日生物技術(北京) *	25	1,409	175	1,786	231	1,964	124
Takara Korea Biomedical *	27	722	93	826	120	889	127
DSS Takara Bio *	49	258	▲0	358	8	389	23
Clontech Laboratories *	131	5,068	276	5,989	658	7,085	794
計	1,236						

** 従業員数は、平成27年3月31日現在

* 海外子会社は、決算期が1-12月であり、数値は各年1-12月実績

平成27年3月期 決算説明会

May 13, 2015

35



【参考資料】

セグメント別業績 (1)

(単位：百万円)

	バイオ産業支援	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
<H27/03 実績>					
売上高	23,593	-	2,381	▲4	25,969
売上総利益	13,392	-	435	-	13,827
販売費及び一般管理費	8,180	1,211	651	1,481	11,524
内、研究開発費	1,945	1,200	153	102	3,401
営業利益	5,212	▲1,211	▲216	▲1,481	2,302
<H28/03 予算>					
売上高	25,978	-	2,321	-	28,300
売上総利益	15,122	-	638	-	15,761
販売費及び一般管理費	9,409	1,579	577	1,845	13,411
内、研究開発費	2,190	1,559	143	120	4,013
営業利益	5,713	▲1,579	61	▲1,845	2,350

平成27年3月期 決算説明会

May 13, 2015

36



【参考資料】

セグメント別業績（２）

（単位：百万円）	バイオ産業支援	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
<H29/03 計画>					
売上高	27,380	-	2,420	-	29,800
売上総利益	16,037	-	681	-	16,719
販売費及び一般管理費	9,918	1,830	589	1,931	14,269
内、研究開発費	2,439	1,810	143	120	4,514
営業利益	6,119	▲1,830	92	▲1,931	2,450
<H30/03 計画>					
売上高	28,780	-	2,520	-	31,300
売上総利益	16,968	-	730	-	17,699
販売費及び一般管理費	10,516	2,080	600	1,951	15,149
内、研究開発費	2,690	2,060	143	120	5,015
営業利益	6,451	▲2,080	130	▲1,951	2,550

平成27年3月期 決算説明会

May 13, 2015

37



【参考資料】

バイオ産業支援事業 外部売上高

研究用試薬の外部売上高

(百万円)

	H27/03 実績	H28/03 予算	前期比	為替の影響 (前期比)	前期比(為替 の影響除く)
日本	5,435	5,620	+185	-	+185
米国	4,570	5,471	+900	+524	+376
欧州	1,960	2,108	+148	▲129	+278
中国	4,532	5,199	+666	+236	+429
韓国	707	798	+90	▲3	+94
インド	230	321	+90	+10	+79

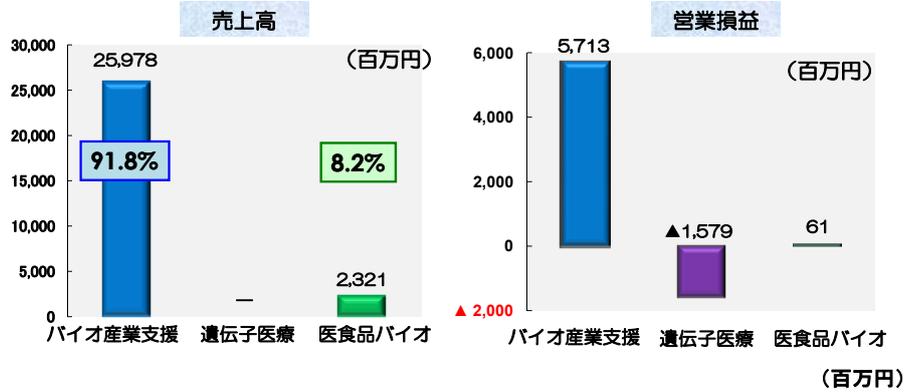
平成27年3月期 決算説明会

May 13, 2015

38



H28/03 予算 セグメント情報（連結）



	バイオ産業支援	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
売上総利益	15,122	-	638	-	15,761
研究開発費	2,190	1,559	143	120	4,013

遺伝子治療・細胞医療の臨床研究

	対象疾患	提携先	現状・今後
HF10 (腫瘍溶解性ウイルス) (臨床研究)	膵がん	名古屋大学	・平成25年4月に臨床研究開始 ・平成28年度に終了予定
WT1・siTCR遺伝子治療 (臨床研究)	造血器腫瘍	三重大学等	・平成25年6月に臨床研究を開始 ・平成28年度に終了予定
CD19・CAR遺伝子治療 (臨床研究)	非ホジキンリンパ腫	自治医科大学	・平成26年4月に臨床研究を開始 ・平成28年度に終了予定
NK細胞療法 (臨床研究)	消化器がん	京都府立医科大学	・平成26年7月に臨床研究を開始 ・平成28年度に終了予定